

令和 6 年度

事業報告書

～目 次～

令和6年度事業概要

1. 地域福祉活動推進部門

(1) 生活支援コーディネーター設置	1
(2) 小地域福祉活動推進事業	2
(3) ボランティアセンター事業の拡充	4
(4) 第4次地域福祉プラン進行管理委員会の開催	5
(5) 広報・啓発活動、情報提供の充実	6
(6) 福祉教育の推進	8
(7) 住民相互の関係づくり支援	9
(8) 当事者活動への支援	10

2. 在宅福祉サービス部門

(1) 住民参加型在宅福祉サービス	12
(2) その他の在宅福祉サービス	15

3. 相談支援事業部門

(1) 日常生活自立支援事業	15
(2) 生活福祉資金貸付事業	16
(3) 相談事業	17
(4) 成年後見制度	17

4. 法人運営部門

(1) 組織運営の充実	18
(2) 財務管理、財源の確保	20
(3) 職員の連携強化・資質の向上	21
(4) 地域福祉推進のためのネットワーク	23

事業の評価については、目標達成度が

100%～80%=◎、79%～60%=○、59%～40%=△、39%以下=▲ とする

令和6年度 事業報告概要

令和6年4月1日～令和7年3月31日

- I C T 機器（L1m-net）機器を使った「見守り・避難行動実証試験」を実施しました。通信機器を使った見守り・安否確認の成果を確認することができました。また、災害時の避難行動の確認についても実証することができました。
- とともに生きる社会をかなえるカフェ（通称：ともカフェ）を開催し、身体障害者福祉協会、かざみどり、手話サークル稲穂などの参加・協力を得て、各種事業を協働で開催しました。
- 福祉みんなのつどいでは「ともに生きる社会」をテーマとし内容を充実させました。午前の部では、聴覚障がい者の講話と2025デフリンピック啓発用動画を上映しました。午後の部では「映画鑑賞会」を開催し、例年以上の参加が得られました。
- 湘光中学校美術部の協力をいただき、わくわく・ショッピングの車両用看板を作成しました。中学生に社協事業を知っていただく良いきっかけとなりました。サービス利用者からも大変喜ばれています。
- 法人後見事業の受任報酬を取得し、新たな自主財源の確保につながりました。
- 令和5年度に引き続き、共同募金の「たすけあい資金」を活用し北陸物産展を開催しました。能登地方の名産品を購入して「北陸物産展」で販売し、その売上を全額「能登町社協」に寄附しました。

1. 地域福祉活動部門

- ◆ 買物支援事業はたいへん好評で令和6年度も継続的に実施しました。
- ◆ わくわく・ショッピングの実施にあたっては、移送サービスの運転ボランティアと新たに介助ボランティアの協力によりスムーズな運行ができました。

(1) 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）設置

目 的	既存の取組・組織等を活用しながら、資源開発、関係者のネットワーク化、地域のニーズと取組のマッチング等のコーディネートを行い、生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進します。		
目 標	買物支援事業の実施による優先的な生活課題の改善を図ります。モニタリングによる事業評価を行い、大井町流の生活支援の仕組みづくりを進めます。	評 価	◎

① 生活支援ニーズと生活支援サービス等のマッチング

令和6年度も生活応援隊のゴミ出し依頼の件数が増加しました。初回の面談時にゴミ出し以外のニーズなどを聞き取り、移送サービスやわくわく・ショッピングの利用につながりました。

また、移動販売についても定期的に販売拠点を巡回し、利用状況を確認しました。

事業名称等	期 日 等	内 容
移動販売	毎週水曜日午後	◎4月から町内9拠点での販売を行いました。 (篠窪・柳・中屋敷・下山田・上大井・馬場・市場・新宿) 実施回数 50回 延べ来場者 1,037人 売上額 約 2,398,000円
わくわく・ショッピング	毎週木曜日午前 スーパーヤオマサ大井町店・あしがらモール店	◎運転ボランティア・介助ボランティアの協力により実施 ◎買物支援事業利用者など53名の登録 実施回数 50回 延べ利用者 817人 登録者 53人
わくわく・ショッピング送迎車両看板完成お披露目式	10月25日(金) 総合体育館前広場	◎湘光中学校美術部に送迎車両の看板作成を依頼し、オリジナリティあふれる看板が完成しました。中学生を招いてお披露目式を開催しました。



③生活支援サービスの研究・検討

フォーマル・インフォーマルサービスの連携等を目的に、データ更新・追加を行った「社会資源一覧表」と社協の各種在宅福祉サービスのチラシを、町内・外の居宅介護支援事業所等に配付しました。

事業名称等	内 容
社会資源一覧表のデータ更新・追加	◎おーい元気会のスケジュールが変わったため、年度初めにデータを更新し発行しました。 ◎民生委員児童委員をはじめ、町内・外の居宅介護支援事業所(約60事業所)へ送付しました。
生活支援提供者フォローアップ	◎各種講座の案内などを送付
課題解決へ向けた新たな資源の開発	◎松田町の移動販売車による販売の実施(運行:足柄上商工会松田支部) ◎わくわく・ショッピング(買物ツアー)の運行
ICT機器を活用した見守り・安否確認の実証テスト	◎株式会社日新システムズのL1m-net (ICT機器) を無償で20台借用し、独居高齢者等18名の方を対象に実証テストを行いました。 ◎民生委員児童委員にも協力いただき、スマホを使って日々の安否について確認をしていただきました。 ◎8月1日～10月31日までの3か月間にわたり、毎日朝・夕に挨拶や戸締りのメッセージを送るとともに、町の安心メールなどの内容や防災警報等のタイムリーな情報も送信しました。 ◎10月20日の町総合防災訓練時には、4名の方に指定の避難所に避難していただき、無事に避難ができたか、本機器を活用して確認を行いました。 ◎期間終了後にアンケート調査を実施したところ、スマホ等が活用できていない方には高い効果があることが分かりました。 ◎独居の方の中には、機器が発する「『おはようございます』のメッセージがとても嬉しく毎朝機器の前で待っている」「あいさつがあると生活にメリハリができる」という感想がありました。孤独・孤立の実態を垣間見ることができました。

④協議体との連携

事業名称等	期 日 等	内 容
はじめの一步講座	1月16日(木) 1月25日(土) 生涯学習センター	◎「はじめの一步講座」を開催 テーマ:大井町の福祉の現状について 講 師:三留奈津子氏(町地域包括支援センター保健師) 町民等 44名の参加 テーマ:防災ってなあに? 防災対策入門編 講 師:黒木研治氏(町防災安全課防災監)他2名 町民等 35名の参加

⑤課題別研修会等の開催

個別の課題解決へ向けて、関係事業者や関係者と情報共有・検討の場を、適宜開催しました。令和7年度事業へ反映させました。

(2)小地域福祉活動推進事業

目 的	自治会を単位とした生活圏域での福祉活動の推進		
目 標	サロン活動をきっかけに、地域の居場所やつながりを再構築するとともに、参加者・担い手といった立場に関わらず、生活の困りごとについての会話を通じて、また、チョットした異変などに気づくことから身近な地域での支えあいにつなげます。	評 価	○

①小地域福祉活動推進組織助成金交付・連携・協働

令和6年度は13の組織に総額972,000円の活動助成金の交付を行いました。前年度と比較すると6,000円の増加となりました。

また、重点事業として「支えあい活動推進事業助成金」を7組織に75,000円助成しました。地域の要請に応じて担当職員を派遣し、各地区の事業・活動を支援したり、情報提供、情報発信を行いました。

併せて、地域活動の情報提供を目的に毎月「ふくしの会通信」をふくしの会役員など約100人にメールにて送信しています。

また、小地域福祉活動推進組織の役員の情報交換の場として、連絡会を開催しました。

【各地区への職員の主な参加状況】

新たな活動の情報収集や支えあい活動の創出にむけた調整を行うため活動場所に出向きました。

地 区 名	期日・会場	内 容
新宿ふくしの会	7月7日(水) 新宿自治会館	・にじいろの会
馬場ふくしの会	8月27日(火) 馬場公民館	・ひまわりサロン
上大井福祉わかばの会	9月9日(月) 上大井自治会館	・ティーサロン
金手ふくしの会	9月26日(木) 金手自治会館	・金手カフェ
新宿ふくしの会	10月10日(木) 新宿自治会館	・にじいろの会
市場ふくしの会	10月16日(水) 市場自治会館	・ICHIBA DE CAFE
金手ふくしの会	10月24日(木) 金手自治会館	・金手カフェ

〔指定地区〕新宿・河原・根岸上・根岸下・市場・馬場・金手・上大井・西大井・篠窪・柳・上山田・中屋敷

名 称	区 分	内 容 等
新宿ふくしの会	主な事業	・にじいろの会(サロン、毎月10日) 延べ221名の参加 ・ふれあいサロン1回、会食会2回で延べ103名の参加、廃品回収を2回実施
	広報	◎4回発行(5月 第49号 8月 第50号 11月 第51号 2月 第52号) カラー発行
河原ふくしの会	主な事業	・ふれあいサロン・囲碁麻雀会(毎月1回)、おしゃべり会延べ78名参加)など
	広報	◎1回発行(3月 第27号) カラー発行
根岸上ふくしの会 ゆうゆう	主な事業	・年間を通してマジック鑑賞や落語などバラエティーにとんだ事業を実施。子どもの参加もあり世代間交流を推進。年間で157名の参加
	広報	◎1回発行(3月) カラー発行
根岸下ともしびの会	主な事業	・四季折々の会を年4回開催、中学生との交流会やお楽しみ会、敬老の集いなど
	広報	◎1回発行(2月 第19号) カラー発行

名 称	区 分	内 容 等
市場ふくしの会	主な事業	・ICHIBA DE CAFÉを年間6回開催、うたごえIN市場を毎月1回開催、夏の思い出づくり事業や手打ちそばづくりなども実施
	広報	◎2回発行
馬場ふくしの会	主な事業	・ひまわりサロンは年間10回開催し延べ92名の参加。・おしゃべり会は年間4回開催し延べ52名の参加。高齢者宅に紅白饅頭や焼いもを宅配
	広報	◎1回発行(2月 第33号)
金手ふくしの会	主な事業	・カフェかなで(毎月1回)を実施 延べ232名の参加 ・子育て支援や高齢者支援、世代間交流活動を実施
	広報	◎2回発行(6月第55号 3月第56号)カラー発行
上大井福祉わかばの会	主な事業	・つどい(毎月1回)延べ304名の参加 ティーサロン(毎月1回)延べ168名の参加 ・ふれあい里山は延べ69名、ふれあい花の道は111名の参加
	広報	◎1回発行(1月 第40号)
西大井ふくしの会	主な事業	・井戸端いきいきサロン(毎月第3木曜日)延べ226名の参加 ・子育てスクスク応援隊を4回開催し延べ188名の参加 ・サロン開催日に困りごと等の相談にサポート隊が対応
	広報	◎3回発行(6月 第78号 12月 第79号 3月 第80号)カラー発行
篠窪ふくしの会	主な事業	・夏祭り篠窪茶屋 ・敬老の祝い品を配布
柳ふくしの会	主な事業	・長寿の祝い実施 ・県道グリーンベルトの花植えや草刈りを実施
上山田福祉推進協議会	主な事業	・里山ガーデン秋の開催 ・見守り花壇、ありがとう花壇、街角プランターの管理など
	広報	◎1回発行(3月)
中屋敷ふくしの会	主な事業	・敬老の日のプレゼントやどんど焼きなどを実施

②小地域福祉活動推進組織連絡会開催

小地域福祉活動推進組織（ふくしの会）活動の充実を目的に、連絡会を開催しました。

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
小地域福祉活動推進組織連絡会	3月19日(水) 生涯学習センター	(1)「大井町の高齢者の状況と課題について」 (2)「小地域福祉活動について」 4グループに分かれて、グループワーク・情報交換を実施 19名参加

(3)ボランティアセンター事業の拡充

目 的	ボランティア活動の普及・啓発事業を目的に、ボランティアの日などの事業を実施します。また、各種ボランティア講座等を開催しボランティア人材養成・確保に努めます。		
目 標	ボランティアグループや学校との連携によりボランティア活動を推進します。	評 価	○

①ボランティアグループへの支援

ボランティアセンターとして、ボランティアに関する相談・支援や必要に応じた派遣調整を行っています。新規のボランティア登録が15件ありました。

【内訳】・生活応援隊 11件 ・移送サービス 7件 ・わくわく・ショッピング 5件
・レスパイト 2件 ・手話サークル 1件 ・行事ボランティア 1件

※複数の活動に登録をされている方が数名いられます



②「ボランティアの日」の推進

○毎月23日をボランティアの日と制定し、各種ボランティア活動を推進しています。

○公共施設に設置している回収ボックスからペットボトルキャップ・インクカートリッジ等を随時回収しました。

期 日 等	場 所	内 容
4月23日(火)、5月23日(木) 6月21日(金)、9月20日(金) 10月23日(水)、11月22日(金) 12月23日(月)、1月23日(木) 2月21日(金)、3月24日(月)	町内小中学校及び公共施設	小・中学生登校時にペットボトルキャップ等回収。 【令和6年度】 ペットボトルキャップ 1,120kg テトラパック 226.5kg ベルマーク購入実績 103,855点

③ボランティア養成講座の開催によるボランティアの発掘・育成

名 称	期 日 等	内 容
福祉有償運送認定講習会	5月11日(土) 生涯学習センター	福祉有償運送・セダン型認定講習会を認定NPO法人かながわ福祉移動サービスの主催で開催しました。
傾聴入門・スキルアップ講座	10月16日(水) 生涯学習センター	傾聴ボランティア養成講座として入門編を、既存のボランティアのスキル向上を目的にスキルアップ編を開催しました。 講師：鈴木しげ氏(NPOシニアライフセラピー研究所理事長)

ボランティアグループ2団体へ活動費を助成をしました。

(2団体へ総額 80,000円助成)

④災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

名 称	期 日 等	内 容
町総合防災訓練に参加	10月20日(日) おい中央公園	・kintoneを活用した災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施しました。令和6年度は、ニーズ受付と現地調査についてロールプレイを行いました。 ・自治会関係者の災害ボランティアセンター見学会を行いました。

(4)第4次地域福祉プラン進行管理委員会の開催

目 的	地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体計画である「地域福祉プラン第4次計画」の進行管理を、住民の参加・協力を得て行います。		
目 標	計画の進捗状況を町行政の担当課並びに社協の内部評価をもとに進行管理委員会にて総合的な評価を行うことで地域福祉の推進を図ります。	評 価	○

①進行管理委員会の開催

地域福祉プラン進行管理委員会を開催しました。

会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容 等
進行管理委員会	3月28日(金) 保健福祉センター	○第3次大井町地域福祉プラン最終年次の取組について ○第4次大井町地域福祉プラン初年次の取組について

(5)広報・啓発活動、情報提供の充実

目 的	福祉に関する、サービス・ボランティア・地域活動等のタイムリーな情報を発信し、福祉への理解・参加を促進する		
目 標	・ ホームページの更新により、アクセス数を増やし情報の発信・周知方法の拡充を図ります。 ・ 昨年度表彰できなかった功労についても、漏れなく推薦いただけるよう関係機関と連携します。	評 価	◎

①社協ホームページの運営

ホームページのデータ更新を行いました。事業の案内や地域の情報など身近な内容を発信していきます。<https://ooi-shakyo.jp> でご覧いただけます。右記の二次元コードを読み取っていただくとスマートフォンでもご覧いただけます。



②ICTの導入による業務改善

令和3年度より導入しているkintoneを活用し、日々の業務改善を推進しています。Kintoneは全国的に災害ボランティアセンターの運営で活用されている実績のあるシステムです。災害時に円滑に運用出来るよう、日常業務で操作に慣れておくことが重要です。また、「ノーコード」(専門知識が無くても)でアプリを作ることが出来ることから、主に総務部門・在宅福祉サービス部門で活用しています。特に、令和6年度は「移送サービスカレンダー」アプリを作成し、日々の運行管理を効率化させることができました。

また、グループウェアとしてOfficeを導入しスケジュール管理や電話メモなどを活用し、ペーパーレス化を推進しました。

③福祉みんなのつどいの開催

地域に根ざした社会福祉の確立に向けて住民一人ひとりが何をすべきかを考える機会とし、併せて社会福祉に貢献された方々の功績を讃えることを目的として開催しました。

また、令和6年度は本会の団体会員である3団体と協働で“ともに生きる社会”をテーマとした福祉講座や映画鑑賞会を同時開催しました。

期日・会場	内 容 等
12月1日(日) 生涯学習センター	【午前の部】 動画上映: デフリンピックPR動画の上映 講 話: 聴覚障がい者の講話 【午後の部】 式 典: 福祉功労者の表彰(表彰3件、感謝7件) 福祉作文優秀賞の贈呈(小・中学生9名) 福祉作文の発表(小学生、中学生各1名) 映画鑑賞: 「梅切らぬバカ」 主演: 加賀まりこ 塚地武雅 来場者約300名



会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容	等
「ともに生きる社会」 をかなえるカフェ (通称:とカフェ)	5月13日(月) 社協事務所 2階	◎「ともに生きる社会」をかなえるカフェについて ◎ともフェスの開催について ◎福祉みんなのつどい時の催し内容について	
	9月11日(水) 社協事務所 2階	◎ともフェスの振り返りについて ◎福祉みんなのつどい時の催し内容について ◎複合的な居場所づくりなどについて	
	11月6日(水) 社協事務所 2階	◎福祉みんなのつどいについて ◎デフリンピックのPRについて	

④広報紙の発行

社協活動の周知・福祉情報の提供、住民の福祉意識の高揚を図るため、広報紙「社協おい」を隔月（奇数月の15日）で発行し、町内全世帯及び賛助会員、関係機関に配布しました。

号数・発行期日	主 な 内 容
各号共通掲載記事	●ようこそボランティアセンターへ ●善意の寄託金品 ●かざみどりより
第205号 5月15日	表紙：ボランティアの日 ◎令和6年度事業計画・予算 ◎町身体障害者福祉協会のご案内 ◎善意の募金箱設置店募集 ◎ボランティア活動紹介 ◎レスパイトサービス報告 ◎リサイクルほほえみバザー
第206号 7月15日	表紙：ゆめクラブおいペタンク大会 ◎ともに生きる社会かながわ推進週間 ◎夏季事業紹介（サマーチャレンジセミナーほか） ◎役員・評議員の一部交代 ◎社協会費納入のお願い ◎能登町災害V C運営支援報告 ◎町民チャリティーゴルフ大会 ◎河原ゆめクラブの紹介 ◎福祉教育 ◎令和5年度事業報告、決算報告 ◎法人後見事業の案内 ◎手話入門講座 ◎ベルマーク整理体験
第207号 9月15日	表紙：ともフェス開催 ◎移動販売「くるまつくん」 ◎赤い羽根共同募金 ◎リサイクルほほえみバザー ◎在宅訪問傾聴エピソード ◎食べきれない食品を募集 ◎夏休み事業報告 ◎里親制度 ◎ゆめクラブちとせの紹介
第208号 11月15日	表紙：みんなのつどい映画鑑賞会 ◎福祉みんなのつどい ◎神奈川県視覚障害者福祉協会 ◎社協事業の担い手を募集 ◎町身体障害者福祉協会バス研修会 ◎県視覚障害者福祉協会「成人を祝う会」 ◎わくわく・ショッピング看板新調 ◎福祉作文入選者決定 ◎県西地区障害者文化事業 ◎会費納入のお礼 ◎はじめの一步講座 ◎グッドファーム大井 ◎市場カフェ
第209号 1月15日	表紙：上大井小学校車いすバスケットボール体験 ◎新年のあいさつ ◎賛助・団体会員の紹介 ◎神奈川県福祉作文コンクール入選者 ◎はじめの一步講座 ◎ボランティア募集 ◎リサイクルほほえみバザー ◎赤い羽根共同募金実績 ◎ゆめクラブ上大井若葉会の紹介
第210号 4月1日	表紙：ふれあい広場開催 ◎各種事業紹介 ◎手話サークル稲穂より ◎ともしびショップゆう案内 ◎福祉有償運送ドライバー認定講習会 ◎パソコンひろばの案内 ◎貸出用品の案内 ◎リサイクルほほえみバザー ◎ゆめクラブ市場の紹介

⑤「みんなの想い」(福祉作文集)発行

名 称	部 数	配 布 先	内 容 等
みんなの 想い発行	300部	小中学校、 福祉みんな のつどい参 加者等	福祉作文の優秀作品をはじめ、サマーチャレンジセミナーの記録などを綴った「みんなの想い」(冊子)を発行し、小・中学校をはじめ、福祉みんなのつどいに来場された方々に配布しました。

(6)福祉教育の推進

①ふれあい教育普及校事業等の実施

期日・会場	内 容
5月9日(木) 湘光中学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
5月13日(月) 上大井小学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
5月15日(水) 相和小学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
6月17日(月) 大井小学校	◎手話体験講座への講師派遣
9月5日(木) 大井小学校	◎点字体験講座への講師派遣
9月17日(火) 大井小学校	◎社協職員による車いす体験講座
1月29日(水) 上大井小学校	◎手話体験講座への講師派遣
2月26日(水) 相和小学校	◎ベルマーク整理ボラ体験への調整・送り

②サマーチャレンジセミナーの実施

小・中学生の夏休みを使って、高齢・障がい者福祉についての理解を深め、命の尊さや多様性の尊重を確認するとともに、他者への思いやりの心を育むことを目的に開催しました。

期 日 ・ 会 場	目 的 ・ 内 容
8月1日(木) 大井保育園	◆保育体験 指導:保育士 2名参加
8月1日(木) 日枝神社境内	◆体験講座【ペタンク体験】 講師:河原ゆめクラブ 23名参加
8月8日(火) 防災倉庫	◆体験講座【防災】 講師:町防災安全課 7名参加
7月30日(火) 8月13日(木) ひかりの里	◆体験講座 【高齢者施設見学・交流体験】 講師:ひかりの里所長・職員の方々 4名参加

③福祉作文の募集

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
福祉作文	夏休み期間	児童・生徒の福祉意識の醸成を図るため実施しました。 ◎小中学生を対象に福祉作文を募集し、神奈川県福祉作文コンクールへ提出しました。小学生1名、中学生2名が入選しました。 【応募総数】 中学生:190編、小学生:55編 計 245編(昨年比 2編増)

④社会福祉士の実習受入れ

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
ソーシャルワーク実習	8月19日～ 10月10日 24日間(180時間)	社会福祉士の資格取得を目指す、社会人の学生からの依頼により実習を受け入れました。 学生の実習目標 ①地域のサロンや居場所における活動を学ぶ ②生活支援コーディネーターの取組、相談支援事業について具体的に学ぶ ③社会福祉協議会の活動を広めるための広報活動について学ぶ

(7)住民相互の関係づくり支援

目 的	多様な主体との連携が求められる昨今、各種実行委員会事務局として関わるなかで、新たなネットワーク構築の好機と捉えて活動を支援します。		
目 標	・行事用機材の貸出しを通じた地域コミュニティの推進 ・ふれあい広場実行委員会支援を通して参加団体との連携強化 ・チャリティーゴルフ実行委員会開催支援を通して関係者との連携強化	評 価	○

①行事用機材の貸出

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容				
コミュニティ活動推進用行事機材の貸出し	通 年	自治会等各種団体が開催する行事に機材の貸出しを行いました。貸出件数は前年度と比べて若干減少しました。				
		機材の名称	保有数	貸出件数	前年度	比較
		輪投げ	9セット	12	13	△ 1
		放送機材	1セット	5	8	△ 3
		ビンゴ	1セット	2	2	0
		ペタンク	3セット	3	1	2
		ビーンボウリング	1セット	2	3	△ 1
		ポッチャ	1セット	1	1	0
		テント	7張	3	7	△ 4
		かき氷機	3台	21	18	3
		綿菓子機	2台	13	12	1
		ポップコーン機	2台	19	18	1
		鉄鍋	2個	1	0	1
		プロジェクター	1台	4	5	△ 1
		水槽	2個	5	8	△ 3
		長机	11台	0	1	△ 1
		点字器	30セット	1	1	0
高齢者疑似体験	7セット	2	2	0		
合 計		94	100	△ 6		

②ふれあい広場開催支援

事業名称等	期日・会場	目 的 ・ 内 容
ふれあい 広場の支 援	4月28日(日) 生涯学習センター	第47回ふれあい広場は、開催形態を変更し4年ぶりに開催しました。 会場を生涯学習センターに変更してあそびのコーナーや展示、体験 コーナーを設置しました。親子連れなど多くの方にご来場いただきました。

③チャリティーゴルフ大会の開催支援

事業名称等	期日・会場	目 的 ・ 内 容
第35回町 民チャリ ティーゴル フ大会	10月3日(木) 東富士カントリーク ラブ	・大会当日運営等支援 106名の参加 ・チャリティー金の受領 134,500円
委員会の 開催	6月19日(水) 9月10日(火) 9月30日(月) 生涯学習センター	・第35回大会の概要について ・その他

(8)当事者活動への支援

目 的	当事者団体の主体的な活動支援と、支えあいのまちづくりに向けた取組を推進		
目 標	・関係団体への支援を通して、主体的な住民活動の促進 ・関係団体の連携と協働の促進	評 価	○

【高齢者事業】

①老人クラブ連合会への支援・協力

町老人クラブ連合会の事務局として役員会・各種行事の運営を担い、各種事業・関係機関との調整等を行いました。

事業名称等	目 的 ・ 内 容
役員会の開催	役員会を7回開催しました。
各種スポーツ大 会・ 文化活動への協 力	各種スポーツ大会等を開催しました。主な内容は次のとおりです。 5月16日(木)総会 5月21日(火)ペタンク大会 6月25日(火)グラウンドゴルフ大会 7月16日(火)カーレット大会 8月6日(木)輪投げ大会 9月10日(火)ペタンク大会(室内) 10月22日(火)グラウンドゴルフ大会 11月15日(金)足柄上ブロックニュースポーツ大会 11月26日(火)パークゴルフ大会 11月19日(火)ゆめクラブ大学 12月17日(火)ピザづくり体験会 1月28日(火)輪投げ大会 2月18日(火)芸能発表会 3月13日(木)役員日帰り研修会
その他	5月24日(金) 南足柄市りんどう会 館 ◎足柄上ブロック老人クラブ連絡協議会 連合会長・事務局1名 出席

②ともしびショップへの支援

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
ともしびショップゆうへの支援	随 時	保健福祉センターに設置しているともしびショップに対して、運営上の相談に随時応じるとともに、運営委員会にも参画し、運営の支援をしました。
監査	5月24日(金) 保健福祉センター	・令和5年度事業報告、決算について
運営委員会	6月11日(火) 保健福祉センター	(1) 令和5年度事業報告並びに決算報告について (2) 令和6年度事業計画、予算について
パソコンひろば大井の支援	4月10日(水) 5月8日(水) 6月12日(水) 7月10日(水) 8月7日(水) 9月11日(水) 10月9日(水) 11月13日(水) 12月11日(水) 1月8日(水) 2月12日(水) 3月12日(水)	パソコンに興味があっても、気軽に触れる機会が少ない障がいのある人などが、パソコンボランティアと一緒にパソコンに触れ、共に楽しむ体験会を定期的に行いました。 延べ利用者63名 ボランティア延べ39名

【障がい者事業】

①「かざみどり」への支援

研修会等の企画にあたって役員会等に参加するとともに、定例会の開催等についても会場・情報提供等の支援を随時行いました。

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
かざみどりへの支援	随 時	かざみどりへ活動上の支援をしました。
総会	5月9日(木) 生涯学習センター	(1) 令和5年度事業報告、決算報告について (2) 令和6年度事業計画、予算について
定例会	随時	定例会や役員会において、資料作成などの支援を行いました。

②身体障害者福祉協会への支援

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
総会	6月25日(火) 生涯学習センター	◎令和5年度収支決算・事業報告 ◎令和6年度収支予算・事業計画
研修会	10月15日(火) 山梨勝沼方面	中井町会員との親睦・交流を兼ねた社会見学会を実施しました。
福和会	11月22日(金) 中井町生涯学習センター	中井町会員との親睦・交流を兼ねた福和会(演奏会)に参加しました。
交流会	2月27日(水) 四季の里	会員との親睦・交流を兼ね「豆腐づくり体験」を実施しました。

【各種福祉団体連携事業】

事業名称等	期 日 等	目 的	内 容
各種団体連携事業	通 年	随時、必要に応じて各種団体の活動や事業を支援しました。	◎老人クラブ連合会 ◎かざみどり ◎身体障害者福祉協会 ◎小地域福祉活動推進組織

2. 在宅福祉サービス部門

外出支援を目的とする移送サービス並びに買物支援事業の利用相談が継続的に増加しています。生活支援を目的とする生活応援隊については利用相談・件数が減少しました。ただ、高齢化や核家族化が背景となっており、今後も更に増加することが予想されます。事業を継続していく上では、各サービスの担い手の確保が大きな課題です。

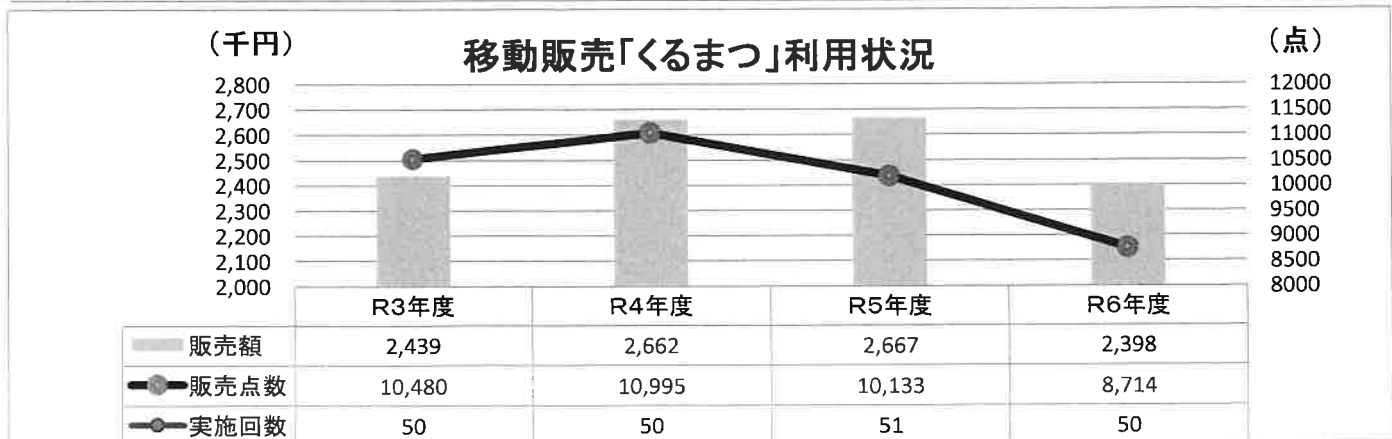
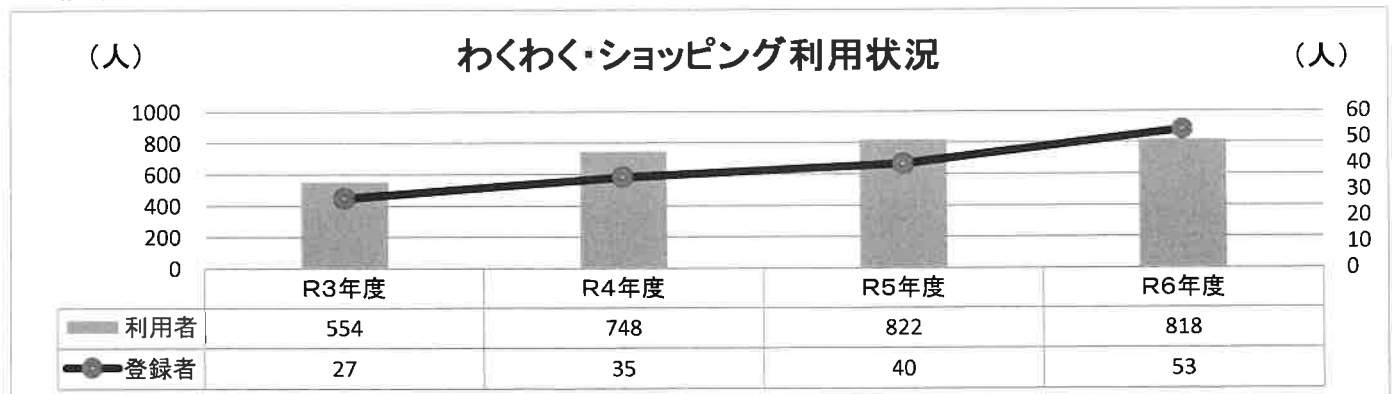
(1) 住民参加型在宅福祉サービス

目 的	住民の主体的な参加を促し地域の課題を解決する。また、その活動等を通して個別の課題を地域の課題として捉え、より主体的な活動を継続的に推進する		
目 標	- 移送サービスの利用者並びに運転ボランティアの拡充 - 買物支援事業の周知と利用促進 - 生活応援隊の周知と支援件数の増	評 価	◎

① 買物支援事業 ※再掲(生活支援コーディネーター設置に詳細を記載しています。)

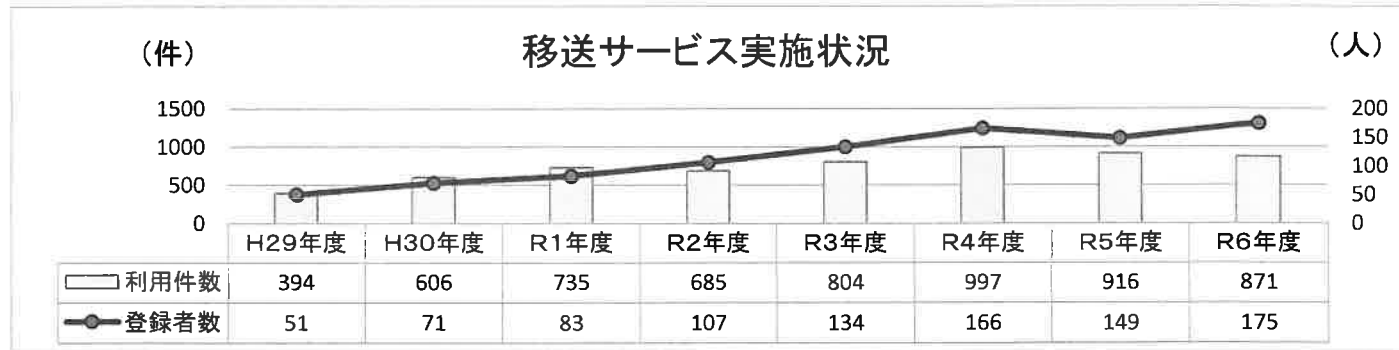
買物支援事業として、「わくわく・ショッピング」と「移動販売」を実施しました。令和2年度の試行を経て令和3年度から本実施となりました。

わくわく・ショッピングは、移送サービスの運転ボランティアと介助ボランティアの協力をいただき50回実施しました。延べ参加者818人(登録者53人)となりました。利用登録者は増加傾向ですが、利用件数が年度後半に減少しました。背景として、体調を崩されて利用休止となる方や施設入所、ご逝去された方が複数いらっしゃいます。



②移送サービス事業(福祉有償運送)

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
移送サービス事業	通年 平日の8:30～ 17:15の間	要介護認定者や身体障害者手帳を所有していただける方等で、通院などの移動に困っている方を対象に、自宅から医療機関や福祉施設の間を福祉車両を用いて移送サービス運転スタッフ等が送迎しました。 年々その需要は高まっていますが、ドライバー並びに車両の確保が課題となっています。 上記のような背景などから、送迎の依頼に対して「お断り」をしなければいけないことが度々ありました。



	H30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用件数	606	735	685	804	997	916	871
登録件数	71	83	107	134	166	149	175
利用距離(km)	5,165	5,937	5,392	6,036	8,798	6,741	5,624
ボランティア数	19	14	15	15	14	16	16
利用料金(円)	515,800	740,800	679,600	762,200	1,015,800	1,274,400	1,152,000

③レスパイトサービス

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
レスパイトサービス事業	学校の長期休暇中 5日間 7月24日(木) 7月29日(火) 8月8日(金) 8月21日(木) 12月25日(木) ふれあい館、他	社協の団体会員である「かざみどり」と「身体障害者福祉協会」との協働事業として、令和6年度も「ともフェス」(ともに生きるをテーマとした交流イベント)をレスパイトサービスとのコラボレーションイベントとして開催しました。当日は総勢70名を近い参加がありたいへん賑わいました。 夏季は恒例のプールを利用させていただき参加者にとっても喜ばれました。また、高橋副会長のご協力をいただき、ピザ焼き体験会など貴重な体験をさせていただくとともに楽しい時間を過ごしていただきました。 冬季はボランティアの神野さんのミカン畑でミカン狩りを体験させていただきました。

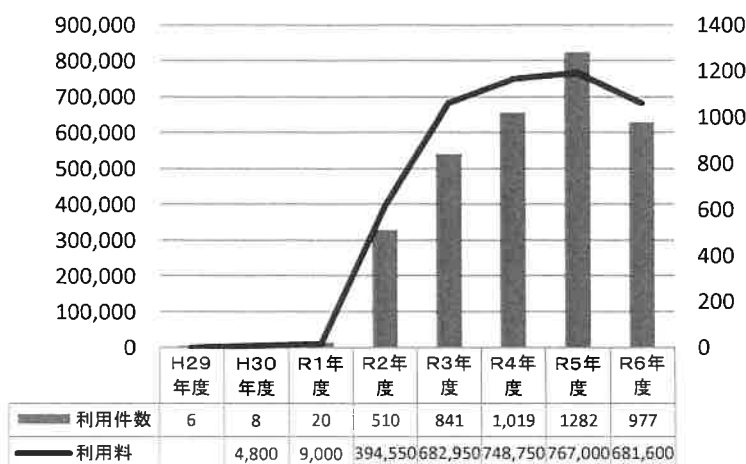


④生活応援隊

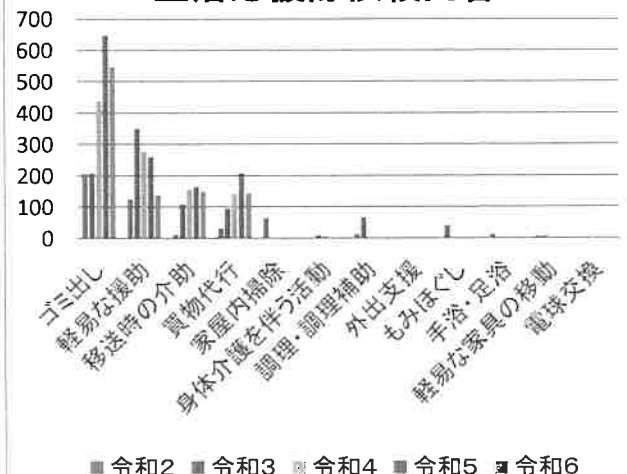
事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
生活応援隊	平日の8:30～ 17:15の間	ひとり暮らし高齢者等が地域で安心して生活ができるよう、日常でのちょっとした困りごとを、地域の協力員が支援します。 令和2年6月サービス内容の拡充を行ったことにより、利用件数が大幅に増加しています。 令和4年度から引き続きゴミ出し支援、日常の軽易な支援、買物代行、通院時の付き添いの順で依頼が多数あります。担い手が不足するなかで依頼が増加しており、新たなしくみづくりへ向けた検討が必要となっています。令和6年度は継続的に利用されていた方がご逝去され件数的には減少しました。

	サービス内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	ゴミ出し	206	208	437	647	547
②	軽易な家具などの移動	4	4	0	1	－
③	電球・蛍光灯の取替	1	2	1	2	－
④	軽易な日常生活上の援助	125	349	277	259	137
⑤	買物の代行	31	94	156	207	144
⑥	一緒に体操	0	0	0	0	－
⑦	調理・調理補助	12	65	0	0	－
⑧	家屋内の掃除・整理・整頓	64	0	1	1	－
⑨	移送サービスの利用時の介助・病院内の付添い	12	109	141	164	149
⑩	外出支援	0	0	2	1	－
⑪	ハンドケア・フットケア	13	0	0	0	－
⑫	もみほぐし	40	2	0	0	－
⑬	身体介護を伴う活動	2	8	4	0	－
⑭	その他	0	0	0	0	－
合 計		510	841	1,019	1,282	977

生活応援隊利用状況



生活応援隊依頼内容



(2)その他の在宅福祉サービス

事業名称等	目 的	内 容						
福祉機器貸出事業	介護保険認定外の方を対象に、自立援助と介護者の負担軽減を図ることを目的に車いすを貸出しました。また、学校で行われる福祉教育の際にも貸出を行っています。							
	【貸出状況】	<table border="1"> <tr> <th>機器の名称</th><th>保有台数</th><th>貸出件数</th></tr> <tr> <td>車いす</td><td>19台</td><td>58件</td></tr> </table>	機器の名称	保有台数	貸出件数	車いす	19台	58件
機器の名称	保有台数	貸出件数						
車いす	19台	58件						

3. 相談支援事業部門

日常生活自立支援事業においては、現任者研修等へ積極的に参加するとともに担当職員・専門員等の交流会を開催して、スキルアップ連携強化を図りました。生活福祉資金においては、本則の貸付相談に加え、コロナ特例の償還相談対応を行いました。

(1)日常生活自立支援事業 (県社会福祉協議会受託事業)

目 的	認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者等を対象に、福祉サービスの利用契約等の手続や利用に伴う支払いなどの支援を行い生活の安定・質の向上を図る		
目 標	利用者の自己実現をサポートするために、体制整備を図るとともに、職員のスキルアップを図ります。	評 価	◎

○認知症高齢者の方など、新規の相談・契約件数が増加の傾向にあります。

事業名称等	事業概要																																			
日常生活自立支援事業	判断能力が不十分な高齢者・障がい者の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を行っています。 契約件数は、年度末時点で26名。令和6年度は1名の生活支援員が退職し、新たな生活支援員の確保が課題となっている。 (人) 利用契約状況 <table><thead><tr><th></th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>認知症高齢者</td><td>8</td><td>9</td><td>14</td><td>12</td><td>15</td><td>17</td></tr><tr><td>知的障がい者</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>精神障がい者</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>4</td><td>6</td><td>5</td></tr><tr><td>身体障がい者</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></tbody></table>		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	認知症高齢者	8	9	14	12	15	17	知的障がい者	2	2	2	5	4	3	精神障がい者	5	6	6	4	6	5	身体障がい者	1	1	1	1	1	1
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																														
認知症高齢者	8	9	14	12	15	17																														
知的障がい者	2	2	2	5	4	3																														
精神障がい者	5	6	6	4	6	5																														
身体障がい者	1	1	1	1	1	1																														

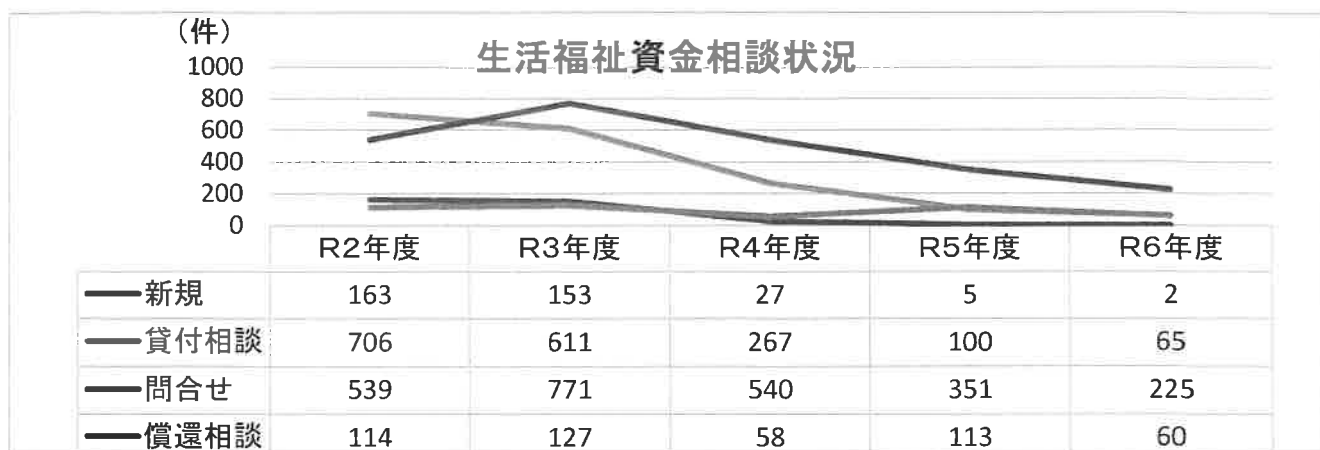
問い合わせ・初回相談・相談援助、項目別件数					契約件数			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
問 い 合 わ せ 件 数	認知症高齢者	11	28	13	認知症高齢者	12	15	17
	知的障がい者	2	3	1	知的障がい者	5	4	3
	精神障がい者	4	7	2	精神障がい者	4	6	5
	身体障がい者	0	2	0	身体障がい者	1	1	1
初 回 相 談 件 数	認知症高齢者	2	10	10	計	22	26	26
	知的障がい者	2	1	0	新規契約	2	9	9
	精神障がい者	3	0	1	契約終了	3	5	9
	身体障がい者	0	0	0	令和6年度の契約終了者9名のうち、 4名が成年後見制度に移行しました。 うち1名は本会の法人後見へ移行し ました。			
相 談 援 助 件 数	認知症高齢者	933	836	535				
	知的障がい者	522	306	188				
	精神障がい者	490	479	264				
	身体障がい者	80	65	34				
合 計		2,049	1,737	1,048				

(2)生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会受託事業）

目 的	低所得世帯や高齢者・障がい者世帯などを対象に、一時的に資金を貸付けることを通じて、世帯の自立支援を図る		
目 標	資金の貸付けと返済や完済までの流れの中で、貸付利用世帯がこれからの生活に希望が持てるよう地域民生委員や関係機関と協働し、問題や課題解決に向けた支援を行います。	評 価	○

事業名称等	目 的 ・ 内 容
生活福祉資金の貸付	低所得世帯、障がいがある方や要介護高齢者が同居する世帯等に対して、資金を貸し付けることによって経済的自立や背景にある生活問題の解決等に向けて支援しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規貸付	164	153	27	5	2
緊急小口	2	4	3	4	1
教育支援資金	1	3	3	1	0
総合支援資金	0	0	1	0	0
福祉資金	1	0	0	0	1
コロナ特例緊急小口資金	77	55	11	－	－
コロナ特例総合支援資金	53	54	9	－	－
コロナ特例総合支援資金延長貸付	19	12	－	－	－
コロナ特例総合支援資金再貸付	11	25	－	－	－
貸付相談	706	611	267	100	65
制度内容等問合せ	539	771	540	351	225
償還相談	114	127	58	113	60



(3) 相談事業

目 的	これまでの相談の概念に捉われない、「断らない相談」へ向けて課題の整理・方針の検討を進めます。		
目 標	複雑化・複合化する相談等にも対応できるよう、総合相談の実現へ向けて社協内・関係機関との話し合いの場を持ちます。	評 価	○

①福祉相談窓口の設置

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
福祉相談窓口	随 時	住民からの福祉に関する相談、生活上の心配事等について随時受け付け、情報提供を行っています。

(4) 成年後見制度に関する取組

目 的	認知症や知的・精神に障がいのある方は、契約を前提とする社会の中で、大変生活しづらくなっており、住み慣れた地域で安心して生活するためには、権利擁護の充実が求められています。本会が成年後見人等となり、その方の判断能力を補い、権利を擁護し、安心して、生活できるように支援していきます。		
目 標	法人後見の受任をはじめました。今後も増加が見込まれている判断能力が不十分な認知症高齢者や障がいのある人へ、社協ならではのネットワークを生かし、法人後見事業や日常生活自立支援事業を通じて、身上保護や財産管理など権利擁護の仕組みを整備していきます。	評 価	◎

◎法人後見等の受任・終了

・法人後見等の受任状況は、後見類型にて1件受任しました。第1回審査会で1件、第2回審査会では、1件の審査を依頼し審判待ちの状況

◇1件目 類型:後見 申立人:大井町長 (令和6年12月審判)

◇2件目 類型:後見 申立人:大井町長

終了

◇1件目 類型:後見 終了 令和6年12月(本人逝去)

◇2件目 類型:後見 終了 令和7年2月(本人逝去)

事業名称等	期日・会場	内容等
法人後見事業審査会の開催	第1回法人後見事業審査会 12月3日(火) Zoomによる開催	(1) 審査 (2) 報告
	第2回法人後見事業審査会 3月27日(金) Zoomによる開催	(1) 審査 (2) 報告

事業名称等	期 日 ・ 会 場	内 容 等
法人後見実施社協連絡会	7月30日(火) Zoomによる開催	・体制上の課題について ・支援上の課題について
	2月6日(木) Zoomによる開催	・活動上の課題について
あしがら成年後見センター地域連携ネットワーク連絡会	2月12日(木) 足柄上合同庁舎	・あしがら成年後見センターの運営状況について ・足柄上地区の課題について
成年後見利用促進連絡調整会議	11月29日(金) 社協事務所 Zoomによる開催	申立てや利用促進について協議

4. 法人運営部門

○全職員の参加による課題提起・情報共有の場として、フライデーミーティングを毎月開催しました。担当業務以外の事業の現状や課題を共有することで、ひとり仕事を予防するとともに連帯感を高めました。

○資格取得支援制度を活用し、社会福祉士資格の取得など国家資格を取得する職員が増えています。

(1)組織運営の充実

①理事会の開催

目 的	社会福祉法人制度改革を踏まえ、理事会・評議員会機能の強化を図る。理事会においては、協議体、運動体機能をより発揮するための運営の充実を図ります。		
目 標	組織運営上の問題や課題解決、今後の取組について理事会や関係機関等との協議を継続的に進めます。具体的な取組については正副会長会議を中心に状況に応じた段階的な課題解決を進めます。	評 価	○

執行機関である理事会を3回開催し、議案はすべて承認されました。

回	期 日	議 題
1	5月24日(金) 社協事務所	【決議事項】 第1号議案 令和5年度事業報告の承認について 第2号議案 令和5年度計算書類並びに財産目録の承認について 第3号議案 補欠役員選任候補者の推薦について 第4号議案 補欠評議員選任候補者の推薦案について 第5号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第6号議案 定時評議員会の招集について
2	10月25日(金) 社協事務所	【決議事項】 第1号議案 令和6年度福祉みんなのつどいの開催について 第2号議案 令和6年度被表彰者の審査について 第3号議案 令和6年度収支補正予算について 【報告事項】 報告第1号 会長の職務執行状況の報告

回	期 日	議 題
3	3月12日(水) 社協事務所	【決議事項】 第1号議案 令和7年度事業計画(案)について 第2号議案 令和7年度収支予算(案)について 第3号議案 令和6年度第2次補正予算について 第4号議案 役員等賠償責任保険の契約について 第5号議案 令和6年度臨時評議員会の開催について 第6号議案 大井町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 【報告事項】 報告第1号 会長の職務執行状況の報告 報告第2号 法人指導監査の結果について 報告第3号 日常生活自立支援事業実施状況調査の結果について

②正副会長会議の開催

理事会等の開催前の事前協議の場として開催しました。

回	期 日	議 題
1	5月10日(金) 社協事務所	●令和5年度事業報告の承認について ●令和5年度計算書類及び財産目録の承認について ●補欠役員選任候補者の推薦について ●補欠評議員選任候補者の推薦案について ●評議員選任・解任委員会の招集について ●定時評議員会の招集について
2	10月25日(金) 社協事務所	●令和6年度福祉みんなのつどいについて ●令和6年度被表彰者の審査について ●令和6年度収支補正予算について
3	2月27日(木) 社協事務所	●令和7年度事業計画書(案)について ●令和7年度収支予算書(案)について ●令和6年度予算の補正(案)について ●役員等賠償責任保険契約について ●令和6年度第3回理事会の開催について ●令和6年度臨時評議員会の開催について

③評議員会の開催

議決機関である評議員会を2回開催しました。

回	期 日	議 題
1	6月14日(金) 生涯学習センター	【報告事項】 令和5年度事業報告 【決議事項】 第1号議案 令和5年度計算書類及び財産目録の承認について 第2号議案 補欠役員の選任について
2	3月25日(火) 生涯学習センター	【決議事項】 第1号議案 令和7年度大井町社会福祉協議会事業計画(案)について 第2号議案 令和7年度大井町社会福祉協議会収支予算(案)について

④監事会の開催

監事会を1回開催し、予算・業務の執行状況監査を受けました。監査の結果、適正に処理されていると認められました。

回	期日・会場	議 題
1	5月15日(水) 社協事務所	(1) 令和5年度業務執行状況の監査 (2) 令和5年度収支決算監査

⑤評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選出母体からの変更の申し出に伴い、新たな評議員の選任を行いました。

回	期日・会場	議 題
1	5月30日(木) 社協事務所	●評議員の選任について

(2)財務管理、財源の確保

目 的	法人運営における活動財源確保は喫緊の課題であり、これまでの方法にとどまらない自主財源確保の方法など、理事会等での協議を踏まえ計画的な取組を行います。		
目 標	法人運営財源の現状について、改めて理事会など組織内機関で確認し、今後の地域福祉の中核を担う社協の組織運営体制についての共通の理解を進めます。	評 価	○

①会員加入の促進

会員募集は、全世帯加入を目標に自治会関係者等の協力をお願いするとともに、組長の集まる会議に出席し会費についての説明を行いました。

会員区分	会費 (年額)	加入世帯数等		金 額	
			前年度		前年度
一般会員	一口 500円	4,186世帯	4,318	3,391,000円	3,438,000円
団体会員	一口 500円	18団体	18	97,500円	97,500円
賛助会員	一口 3,000円	90社	96	660,000円	703,000円
合 計				4,148,500円	4,238,500円

②会費説明会

社協の事業と社協会費の理解を図るため、自治会の組長会議で説明会を開催しました。また、会費の資料をお届けした際にも随時説明を行いました。

回	期 日	会 場	議 題
1	4月14日(日)	河原自治会館	(1) 社協事業について (2) 会費について
2	4月14日(日)	上大井自治会	(1) 社協事業について (2) 会費について

③企業広告の掲載

広報紙に企業広告を掲載し広告掲載料をいただきました。

協力企業数	広 告 掲 載 料
10社	172,000円

④社会福祉基金の造成等

社会福祉基金の保有額が1千万円余りとなりましたが、今後も法人運営事業に基金原資を投入する状況にあります。残高の底が見えてきていることから、社協として主体的に事業展開を行うことも想定し、一定の残高を保有しておく必要があります。善意の募金箱への寄附金を積み立てました。

項 目	金 額
令和6年3月31日現在積立累計額	12,310,140 円
令和7年3月31日現在積立累計額	12,407,183 円
令和6年度分基金積み立て額	97,043 円

⑤寄附金の受け入れ

町民の方々より寄せられた寄附金品とその配分等は次のとおりでした。

【金員】

区 分	件 数	金 額	説 明
一般寄附	34	642,311円	一般寄附金として
善意の募金箱	15	90,114円	町内の商店などに設置させていただいている募金箱への寄附
合 計	49	732,425円	

【物品】

物 品 名	件 数	配 分 等 の 説 明
食品	11	町内高齢者施設、生活困窮世帯
尿取りパッド・紙おむつ	2	
石鹸	1	
書籍	1	
歩行器、四点杖、電動らくらくムーブサイクル	1	
ペットボトルキャップ、古切手	1	
タオル、雑巾	1	
合 計	18	

(3)職員の連携強化・資質の向上

目 的	各部門の連携強化と個々の職員の専門性向上により、総合的な生活支援の体制をつくります。		
目 標	福祉に限定した資格取得や研修の受講とせず、ICTなどの活用を含めた幅広い資質向上へ向けて取組めます。	評 価	◎

①職員間ミーティングの拡充

担当業務毎の縦割り解消並びに課題や成果の共有等を目的とし、職員の主体的な参加による「フライデーミーティング」を開催しました。毎回、参加する職員から検討したいテーマ・個別ケースなどを提案してもらい、協議・検討を進めています。

回	期 日	内 容 等
1	4月19日(金) 社協事務所	●kintone生活応援隊アプリの活用について ●ふれあい広場について
2	5月30日(木) 社協事務所	●移送サービスに関しての提案について ●能都町災害ボランティアセンター派遣体験記
3	6月21日(金) 社協事務所	●会費(賛助会費)について ●移送サービスに関しての提案・kintoneアプリの入力操作について ●ICTを使った見守り実証実験について ●ともに生きる社会推進週間について

回	期 日	内 容 等
4	7月21日(金) 社協事務所	●共同募金運動について ●社会福祉士実習受入れに伴う心構えについて
5	8月22日(木) 社協事務所	●行事用機材貸出事業について ●大井町総合防災訓練について
6	9月27日(金) 社協事務所	●生活応援隊の支援内容等について ●移送サービス令和6年度前期の状況並びに後期へ向けて
7	10月18日(金) 社協事務所	●大井町総合防災訓練の内容について ●会費の拡充について
8	11月15日(金) 社協事務所	●共同募金会事務費の活用について ●移送サービスの現状について ●福祉みんなのつどいについて ●産業まつりフリーマーケットについて
9	1月22日(水) 社協事務所	●移送サービスの今後の運営方法等について
10	2月6日(木) 社協事務所	●広報おい発行月日の変更について ●令和6年度事業評価について
11	3月27日(木) 社協事務所	●令和6年度の振り返り ●令和7年度事業計画・予算について

②各種研修会・会議への参加

各種サービスや業務の充実を図るために研修会等に参加し資質向上に努めました。

回	区 分	期 日 ・ 会 場	内 容 等
1	第1回日常生活自立支援事業実施社協連絡会	6月17日(月) 県社会福祉センター	・日常生活自立支援事業実施要綱等の改正について ・神奈川県内における成年後見の取り組みについて
2	第2回日常生活自立支援事業実施社協連絡会	2月28日(金) ZOOMによるオンライン開催	・令和7年度日常生活自立支援事業取り組み予定について ・他社協に情報提供を求めたい事項について
3	協議体	12月9日(月) 2月26日(水) 3月24日(月) 保健福祉センター	・令和6年度の生活支援コーディネーターの取り組みについて ・ICT機器を使った見守り・安否確認、避難行動確認の実証試験について ・生活支援担い手養成研修(はじめの一步)について ・社会資源一覧表の活用について
4	大井町地域包括支援センター介護予防担当会議	5月23日(木) 6月27日(木) 7月29日(木) 9月26日(木) 10月31日(木) 11月28日(木) 12月19日(木) 1月23日(木) 2月27日(木) 3月27日(木) 保健福祉センター	・望む暮らしや元の生活に戻るための支援について ・個別ケース検討 ・はつらつクラブの新規利用者の状況等について ・参加者のモニタリングについて ・卒業後に、地域で参加できる社会資源について

回	区 分	期 日 ・ 会 場	内 容 等
5	生活福祉資金 担当職員研修 会	7月25日(木) Zoomによる開催	・各種貸付事業の内容について
6	災害ボランティア アセンターコー ルセンター説 明会	9月13日(金) Zoomによる開催	・kintoneを使った遠隔地からの被災地支援について ・能登半島地震での実践事例について
7	未来の移動を 考えるワーク ショップ	7月26日(金) Zoomによる開催	・長野県の外出支援事業の事例紹介
8	福祉有償運送 制度説明会	2月6日(木) Zoomによる開催	・道路交通法の改正について ・福祉有償運送の価値と課題 ・グループワーク

(4) 地域福祉推進のためのネットワーク

目 的	各種団体との連携強化を図るとともに、新たなネットワークづくりへ向けた取組を積極的に推進します。		
目 標	関係機関の会議等に積極的に参加し、連携・協働に向けたネットワークの強化に努めます。	評 価	○

①関係機関・団体との連携

福祉ニーズの把握や問題解決への調整・協働や効率的な事業の実施等、関係機関・団体との連絡・調整、運営への参画に努めました。

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
民生委員児童委員協議会との連携	4月9日(火) 7月9日(火) 9月10日(火) 10月8日(火) 保健福祉センター	定例の民生委員児童委員協議会へ参加し、社協事業の周知や協力依頼、住民の生活問題の把握に向けた協働などをしています。また、介護支援専門員との意見交換会にも同席しました。
大井町地域公共交通会議	5月16日(木) 9月12日(木) 2月28日(金) 役場会議室	・令和5年度事業報告及び決算について ・令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について ・大井町巡回バス「ゆめバス」について ・「ゆめバス」の運行状況について ・松田町AIオンデマンド交通の運行状況について ・ゆめバスの運行形態の一部変更について
大井町職員防災検討委員会	5月15日(水) 6月25日(火) 7月17日(水) 8月14日(水) 9月18日(水) 11月6日(水) 1月22日(水) 2月18日(火) 生涯学習センター	・「大井町職員災害時初動マニュアル」の加筆修正 ・神奈川県西部地震の気付き ・業務継続計画(BCP) ・大井町職員防災検討委員会の運営について ・大井町総合防災訓練の概要について

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
足柄上地区社協 連絡会への参画	通 年	足柄上地区1市5町の社協で連絡会を組織し、会長会・事務局 局長会・職員会の担当制を取り各種の協働事業を実施する とともに会議を開催し連絡調整を図っています。
幹事会	4月15日(月) 生涯学習センター	◎令和5年度事業報告・決算報告 ◎令和6年度事業計画(案)・予算(案)
役員合同研修会	12月6日(金) 開成町社会福祉会館	テーマ「災害ボランティアセンターの運営について ～地域の方たちとの関り～」 講師 鈴木氏(静岡県社会福祉協議会地域福祉課係長)
事務局長・担当職 員 合同部会	7月18日(木) 11月21日(木) 3月7日(金) 松田町健康福祉セン ター	◎災害ボランティアセンター担当者会議について ◎地域福祉担当者会議について ◎役員合同研修会について ◎権利擁護事業担当者会議について
地域福祉担当者 会議	8月1日(木) 11月11日(月) 山北町社協	◎令和6年度の会議の持ち方について ◎地域福祉研修会について ◎情報交換
地域福祉実践交 流研修会	2月13日(木) 山北町生涯学習セン ター	講演 テーマ「これからの地域福祉活動」 講師 よこはま地域福祉研究センター センター長 佐塚玲子 氏 実践者報告、パネルディスカッション・質疑応答
権利擁護事業担 当者会議	5月20日(月) 9月10日(火) 2月18日(火) 南足柄市りんどう会館	◎足柄上地区での権利擁護事業の現状と課題 ◎日常生活自立支援事業の実施状況 ◎事例検討、情報交換
生活支援コーディネーター実務者情 報交換会	8月8日(木) 開成町社協	◎令和6年度の生活支援コーディネーターの取組について ◎情報交換
西湘ブロック社協 ボランティア担当 職員会議	7月3日(水) 3月6日(木) 小田原市社協	◎令和5年度の取組状況について ◎令和6年度の活動計画について ◎情報交換
地域けあねっと わーく会議	5月20日(月) 7月29日(月) 9月18日(月) 11月18日(月) 1月20日(月) 3月17日(月) 保健福祉センター	◎事例検討(町内介護保険事業所持ち回り) ◎介護予防のための地域ケア個別会議 ◎本人が望む暮らしや元の生活に戻る支援について
要保護児童対策 地域協議会実務 者会議	4月18日(木) 7月4日(木) 11月14日(木) 2月13日(木) 保健福祉センター	◎要保護児童対策地域協議会設置要綱について ◎居所不明児童に係る対応基準について ◎要保護児童等進行管理について
生涯学習推進委 員会議	10月22日(火) 1月22日(水) 3月17日(月) 生涯学習センター	◎各課の取組状況について ◎生涯学習カレンダーについて ◎令和5年度生涯学習関連事業について
高齢者虐待防止 ネットワーク運営 委員会	3月27日(木) 保健福祉センター	◎令和6年度高齢者虐待事例の経過報告及び事例検討

②共同募金会大井町支会の運営

会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容 等
共同募金運動との連携	通 年	当協議会が共同募金会大井町支会として募金運動を実施しています。
支会事務局長会議	11月14日(木) 2月12日(水) 県社会福祉センター	・令和6年度共同募金運動について
支会事務局担当職員会議	4月24日(水) 7月11日(木) 県社会福祉センター	・令和6年度共同募金運動について

赤い羽根募金は10月1日(日)～12月31日(日)まで。年末たすけあい募金は12月1日(金)～12月31日(日)まで実施しました。それぞれの募金額は次のとおりです。

内 容	金 額	備 考
募金総額	3,020,421 円	
赤い羽根募金	1,863,796 円	
戸別募金	1,472,650 円	
法人募金	154,600 円	
職域募金	23,198 円	
街頭募金	57,037 円	
校内募金	3,637 円	
その他の募金	152,674 円	
年末たすけあい募金	1,156,625 円	
戸別募金	1,156,623 円	
その他の募金	2 円	